



が っ 5月ほけんだより

れいわ ねん がっ にち おおしまほいくえん
令和6年5月1日 大島保育園

春の風が心地よく、さわやかな気分になれる5月になりました。子どもたちも新しい生活に徐々に慣れてきましたが、一方で疲れが出てきて体調を崩す子どもの姿も見られました。睡眠を十分にとり、お休みの日は家族でゆっくり過ごし、心身のリフレッシュができるようにしましょう。

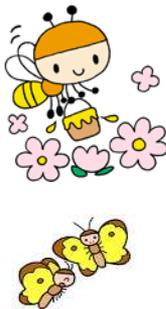
RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、感染力が強く、2歳までにほぼ100%感染するとも言われています。呼吸器疾患や心疾患など持病がある場合や年齢が低いほど重症化しやすく、呼吸困難になったり、気管支炎、肺炎などの合併症を起こしたりする可能性もあるため、悪化する前に受診するようにしましょう。



爪は伸びていないかな？

爪が伸びていると、自分や友達の皮膚を傷つけてしまったり、折れたりなど、ケガの原因となります。週に一度は爪のチェックを行い、爪を切るようにしましょう



4月の感染症

RSウイルス感染症7件 溶連菌感染症3件
インフルエンザ3件 新型コロナウイルス感染症2件
手足口病1件

5月の保健行事

8日(水) プール前健診

(さくらんぼ組、もも1・2組)

かぜからくるせきの病気

かぜは年齢が低いほど重症化しやすくなります。かぜをひいた後、せきが続くことがあれば、炎症が気管支や細気管支にまで進んでいるのかもしれない。

症状

気管支炎

- ・38℃以上の発熱
- ・「ゴホゴホ」というたんがからんだせき
- ・日中も睡眠時もせきが止まらない
- ・2歳以下は呼吸困難を起こすことがある

細気管支炎

- ・熱はあまりないか、あっても微熱程度
- ・次第にせきとたんが増える
- ・息をすると「ヒューヒュー」「ゼーゼー」という音がする

せきがひどいときは・・・

- ・上体を起こすとたんが切れて、呼吸しやすくなります。
- ・小さなお子さんは、たて抱きで背中を軽くたたいたり、さすったりしてあげましょう。
- ・部屋の加湿(50～60%)と水分補給をしましょう。

